



# ゼロから創る奈良

奈良市長

2014.12.23 Vol.72

仲川げん  
ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

## TOPIC

## 訪日外国人、過去最高を記録 ～奈良観光は新たな時代へ

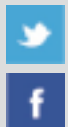
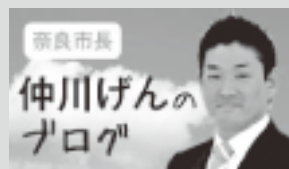
奈良を訪れる外国人観光客の勢いが止まりません。全国的にも史上初めて1000万人を超えた昨年を、今年はさらに2割ほど上回ることが確実視される中、奈良市でも1300年祭で盛り上がった2010年(63万人)に到達する見込みとなっています。実際に市内の主要観光地では「日本人が見当たらない」と言われるほど外国人の増加を実感します。ホテルの稼働率でも1月以降すべての月で対前年を上回っており、特にこれまで弱かった夏場の稼働率が向上しているのは、日本人と旅行形態の異なる外客の影響が大きいと考えられます。これまでもホテル不足が指摘されてきた奈良ですが、「春・秋は満室で大阪・京都に逃げられ、夏・冬は閑古鳥。通年のビジネスとしては投資に見合わない」と言われてきました。昨年は3施設が閉鎖もしくは建替えで計154室が消失したことでトータルの宿泊客数は141万人と微減しましたが、今後1年以内に約260室が開業予定で、さらに県営プール跡やJR奈良駅前等で新たなホテル誘致計画が進んでいることもあり、宿泊型観光への転換に県・市共に大きく舵を切っています。

一方、人数だけでなく何よりも注目すべきはその経済効果です。直近の国の調査によると訪日外国人一人当たりの消費額は15万8000円と、昨年比13%増と過去最

高を記録しています。国内人口が長期的な減少傾向にある日本において、必然的に細る消費を補う存在として観光客の果たす役割は非常に大きいと言えます。日本の定住人口一人当たりの年間消費額は約120万円ですが、国内の日帰り観光客なら79人、宿泊客なら24人、外国人観光客なら7人で代替できると言われています。奈良市の人口は1960年から2000年にかけて約3倍に急増しましたが、その後は毎年1000人程度の「微減状態」が続いています。他市では既に大幅な減少傾向がみられる中、「まだ奈良市は大丈夫」という声も聞かれますが、今後は「定住人口+交流人口(観光客)」という発想で、奈良市の強みを生かした政策をいち早く実行することで将来の街の活力が決まってきます。

先月は台北で行われた台湾最大の旅行見本市に出展、昨年に引き続き私も自ら乗り込みトップセールスを仕掛けてきました。台湾は親日的で家族での来訪が多く、また一人当たり消費額も高いため、より多くの経済効果が見込めます。この5年間で奈良市にも約5倍の来訪があり着実にプロモーションの効果が見えてきました。今年度はその他にもシンガポールやインドネシアでも職員が営業に飛び回っています。待ちから攻めに姿勢を変えた市役所に、来年もご期待ください。

市政の動きやmanifestoの進捗状況など、最新情報はツイッター、ブログにて更新中!



@nakagawagen

仲川 げん

### Profile

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石(株)及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。日本のルーツとして、世界から尊敬される奈良をめざす。三児(4歳・2歳・0歳)と妻の5人家族。中核市市長会副会長。AERA「日本を立て直す100人」に選定。現在二期目。

# 活動報告

[ 2014.7 - 2014.11 ]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。  
さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信中!

7/11

行政



就任以来5年に渡って支えて頂いた福井重忠副市長が退任。あらゆる分野で豊富な経験に裏付けられた適切なアドバイスを頂きました。有難うございました!

7/14

行革



経営合理化のため統合した上下水道事業。奈良市と同様、全国的に珍しい民間出身のトップを迎えた大津市と包括協定を締結しました。市長同士も同世代!

8/26

経済



リニア中央新幹線の間駅は県内最大の観光地=需要地である奈良市に!市民が一体となって誘致活動を展開しています。

8/26

行政



中核市市長会の連携担当として、政令指定都市や特例市と一層の連携強化を図り、全国813市をリードしていきます。

9/1

経済



総務省「地域おこし協力隊」の一環として、新たに5名の若者が奈良市東部の大和高原で地域活性化に挑戦します。

9/20

観光



NMB48の渡辺美優紀さん、いとうまい子さん、さんみゅ〜の小林弥生さんと3週連続で観光大使の委嘱を行いました。奈良市ニュースの閲覧が過去最大!

10/18

経済



日本版ダボス会議のG1サミットが大津で開催され、2つの分科会に登壇。東大寺森本長老と下村文科大臣のトークが秀逸でした。写真はパソナ南部代表と

10/20

教育



子どもの頃から社会の仕組みを学び、職業観を持たせるキャリア教育の第一人者である藤原和博さんと三笠中で公開授業を実施。私も1コマ担当しました。

11/10

観光



台湾からの誘客をさらに強化するため、台湾最大の旅行見本市「ITF台北2014」に出展。宿泊につながる商品を中心に営業活動に奔走しました。

11/27

スポーツ



「若者たちが帰ってきたくなる街」実現の一環として支援している地元サッカーチームの奈良クラブが優勝。来年からはJFLに昇格が決定、おめでとう!

11/29

環境



山の辺の道と里山資本主義を考えるフォーラムに、並河天理市長・松井桜井市長と共に登壇。広域観光で連携します。

## NEXT NARA

## 一年を振り返り

今年も残すところあと僅かとなりました。今年2月の第一回珠光茶会に始まり、5月には元林院の復興に向けた取り組みをスタート、地域ブランドでは糖度日本一のいちご「古都華」のPRや清酒発祥の地フェスタの開催、国内外での観光プロモーション等、あらゆる機会を捉えて奈良の露出とイメージづくりに取り組んできました。また従来から力を入れている起業支援や子育て支援に加え、地元サッカーチームの奈良クラブがJFL昇格を決めるなど、「若者たちが帰ってきたくなる街」の実現が少しずつ見えてきた1年でした。

7月には市民病院の建替えが完了しましたが、開業から10年で医師は3倍、看護師も2倍に増えるなど人員体制

も充実してきました。今年個人的にも母が亡くなり、終末期医療の難しさとそれを支える家族の気持ちを自ら実感することとなりました。特に母は極めて活動的な女性で、70歳を過ぎても徹夜で原稿を執筆するなど、私から見ても「超人」的な存在でしたので、予想以上に早い最期には悲しみよりも驚きが勝るような状況でした。ここで改めて生前のご厚誼に感謝申し上げます。そんな中、秋には待望の第3子(女の子)が産まれるという明るい話題もありました。我が家は連日「運動会」のような状態が続いていますが、今回は私も初めて時短勤務を取得し、妻から「育児なし」と言われないよう頑張っています。皆さんが希望に満ちた新年を迎えられますことを祈念申し上げます。

## 仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1  
FAX:0742-26-0398

ボランティア  
募集中!

### ■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

